



世界最大級の蛾に出会える日本最西端の山

うらぶだけ

宇良部岳

231m

- 距離：1.1km（登山口～山頂）
- 歩行時間：約1時間20分（往復）



※すべての地図は、国土地理院の電子地形図を加工して作成したものです。

与那国島の最高峰で、その山容から「与那国富士」とも呼ばれる、山岳信仰の霊峰である。

山頂からは、与那国島を一望でき、年に数回だが、台湾を望むこともできる。

宇良部岳一帯は、与那国島特有の植生が残されており、さまざまな動物の生息地である。山頂一帯には、沖縄県内で数少ないウラジロガシ群落が発達している。また、山の中腹部から新川鼻の岬にかけての地域は低地林がよく発達しており、世界最大級の蛾「ヨナグニサン（アヤマヒビル）」の重要な生息地となっている。

*登山道：

- ・標識はないが、一本道なので迷うことはない。
- ・山頂付近まで車道あり。

*注意点／アドバイス：

- ・山中にトイレや水場はないため、事前準備が必要。

*登山口までのアクセス：

- ・祖納集落（町役場）から車で約8分。レンタカーあり。

*周辺情報：

- ・祖納集落には、町役場をはじめ商店や民宿なども集中している。
- ・日本で一番遅く夕日が沈む場所として有名。

■島のプロフィール

日本最西端、台湾まで111kmの国境の島。戦後の一時期、台湾との密貿易で栄えた。カジマグロ漁で知られる。

問い合わせ／与那国町役場 0980-87-2241（代）

<周辺位置図>



◆ 「しま山 100 選」とは

(公財) 日本離島センターでは、海に囲まれた島の山々の個性や魅力にスポットをあて、全国の島々を対象に、「しま山 100 選」を選定しました。「しま山」を通じて、訪れる人にも、島の人にも、島の魅力を再発見してもらい、交流の促進につなげていくことがねらいです。

そもそも島とは、海の底から立ち上がった山であり、その姿は高山のような雄大さがありますが、海拔にすれば 1,000 メートル以上のしま山は少なく、体力をあまり気にせずに頂を極める満足感が得られ、一年を通じて楽しめる山が多いことが魅力です。草花や生きもの、地形や地質、全方位のパノラマや多島美、史跡など、しま山ならではの特別な宝物にも出会えるかもしれません。

海を渡ると、そこは島時間。日常からちょっと離れて、島旅・山旅にでかけてみましょう。山から島を眺めれば、島の形や人々のくらしの場、島を囲む美しい海や砂浜、遠くの島々まで見渡すことができ、その島をもっと身近に、もっと好きになれるはずです。



「しま山」登山は、情報集めから

本シートは、各山の魅力をまとめることで、まずは「しま山」や島に興味を持ってもらうことを目的として作成したものです。「しま山」に行くことが決まったら、より詳細な情報を集め、登山計画を立てましょう。

島旅は、季節や天候によって行程などに影響の出やすいものです。事前に、インターネットやガイドブックなどで最新情報を確認するとともに、観光案内所や宿の方などに相談してみるのも、おすすめです。